



題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉  
 発行2019年10月1日 〈毎月1日発行〉  
**滋賀県民主教育研究所**  
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目  
 11-3 教育文化会館2F  
 TEL & FAX 077-525-5364  
 教育110番 077-523-3715  
 eメール shiga.minken@gmail.com  
 HP: http://shiga-minken.jimdo.com/  
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)  
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576  
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256  
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

## 疲弊する学校、今こそあたたかい人間同士のつながりを

全滋賀教職員組合書記次長 高岡光浩

四月から全滋賀教組の専従役員に

なりました。様々な仕事があるわけ

ですが、今年とくに目立つのが現場

の先生方からの相談です。私が受け

ただけでも相当数あります。その中

には、簡単な説明で終わることもあ

れば、この仕事を辞めようかという

深刻なケースもあります。組合員だ

けでなく、組合員以外の方からも相

談があります。相談するところもな

く、薫にもするようない思いで電話

をしておられることは話の中から伝

わってきます。担任している子ども

や保護者との関係がうまくいかな

なった、同僚との関係が悪化したな

ど様々なケースがあります。子ども

や保護者との関係がこじれるとな

な解決の糸口が見いだせず、長期

化しがちです。それでも職場のサポ

ートがあれば、時間がかかっても乗り

越えていく可能性はあります。とこ

ろが、その職員間が信頼関係で結ば

問題を抱え込んでいきます。職員同士のつ

ながりが、困難に直面した教師を支

えていく力の源泉だとつくづく思

ました。そんな大切な職員間の関係

が、実はごく小さなことから崩れて

いくことも相談事例から見えてきま

す。生徒指導についての考え方の違

い、日々の役割分担についての不公

平感、自らの頑張りが認めてもら

ない苛立ち等々。考えの違いがあ

っても、話し合えば一致点を見いだ

することはできます。しかし、多忙な日

々の中で自分の仕事に手一杯の状態

は、ゆっくり話をすることもでき

ません。長時間労働が野放しにされ

ていることが、職員間の関係づく

り難しくしている大きな要因と言

えるでしょう。長時間労働解消には先生

を増やす以外に方法ありません。と

ころが、現政権は教職員定数増にま

たく背を向けています。そんな中

で、悩み苦しむ先生、教壇を去って行く

### 《 今月の紙面 》

- ・疲弊する学校、今こそあたたかい人間同士のつながりを／高岡 光浩 …P1
- ・「息苦しさ」「善隣友好の精神」で突破しよう！／福井 雅英 …P2, 3
- ・「出逢いという奇跡」～近江兄弟社高校演劇部のドラマ  
／丸山はるか・長谷川友彦 …P4, 5
- ・児童書「守山昔ばなし」の刊行にあたって／奥村 信夫 …P6, 7
- ・滋賀の教育動向 7・8月 …P8

先生は少なくありません。せめてその職場に同僚の様子を気にかけてくれる人がいれば、あるいは一人でも話を聞いてくれる人がいれば、状況はまた異なっていたのではないでしょう。誰もが仕事に追われ、疲弊しています。まずは、その悩みや困っていることを語り合い、同じように悩んでいる人の存在に気づき、つながることです。語りあうことで、問題が明らかになったり、解決の糸口が見えてくることもあるはず。長時間労働で余裕がない状況ではありますが、互いに支え合う関係を学校の中に広げていきたいと心から思います。